

令和5年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号		27
部	教育部	課	スポーツ課	

1. 指定概要

施設概要	名称	近江八幡市立健康ふれあい公園		建設年	平成29年（大規模修繕 年）		
	所在地	近江八幡市竹町1178番地		利用対象	全市		
	設置目的	施設は、子どもから高齢者までが利用できる健康増進のための運動公園を基本理念として、市民の心身の健全な発達、健康寿命の延伸並びに体育及びスポーツの普及振興を図ることを目的に運営する。					
	規模	敷地面積 2,529㎡、延べ床面積 3,863㎡、階数 地上2階、地下1階					
	指定管理開始年度	令和4年度					
指定管理者	名称	アシックス・ビバ・ナショナルメンテナンス共同体（代表者 アシックススポーツファシリティーズ株式会社）					
	所在地	神戸市中央区港島中町七丁目1番1					
指定管理業務の内容		①施設の維持管理に関する業務 ②施設の利用に関する料金の徴収等に関する業務 ③施設の設置目的の達成に資する事業に関する業務 ④施設の利用者の利便性を向上させるために必要な業務 ⑤その他、施設の運営に関し市長が必要と認める業務					
指定期間		令和4年 4月 1日 ～ 令和9年 3月31日 （5年間）					
指定管理料		令和3年度： 48,300千円	令和4年度： 51,591千円	令和5年度： 47,438千円	令和6年度： 49,599千円（見込）		
利用料金制		採用している	選定方式	公募	応募者数	1	

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和5年度実績	所管課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	【目標】 ○安全で安心して利用できるスポーツ施設 【具体的な取り組み】 ①施設・設備の維持管理 ・施設清掃 ・植栽管理 ・消防設備保守点検 ・電気設備の点検・メンテナンス ・建設設備管理（自動ドア、防犯カメラ、電気設備装置） ・施設機械警備（機械警備用センサーメンテナンス） ②危機管理体制の確立 ・消防訓練・緊急時対策訓練 ・個人情報の保護	①施設及び設備の維持管理 ●施設日常清掃●植栽管理(剪定、施肥)業務：8/14、8/22●消防設備点検：5/8（機器）、11/27（総合）●受変電設備点検業務：奇数月点検実施●機械警備業務：毎日●温水ヒーター保守点検：7/13、1/24●温水ヒーター煤煙測定業務点検：5/24、11/11●受水槽清掃業務：10/16●浄化槽保守点検業務：月4回、法定検査1/10●プール濾過装置点検業務：9/25、3/25●空調機保守点検業務：6/19、12/18●パッケージエアコン点検：6/19、9/4、12/18、3/4●常駐設備管理業務：毎日●残留塩素測定業務：毎週火曜日●二酸化炭素測定業務：毎週火曜日●空気環境測定業務：奇数月●飲料水水質検査業務：8/2（精密）、2/7（一般）●プール水質検査業務：毎月●プール水水質検査業務(総トリハロメタン・レジオネラ菌)：8/2、リラクゼーションプール●簡易専用水道検査：10/16●防虫・防除業務：9/25、3/11●エレベーター保守点検業務：4/26、7/28、10/12、1/26●オイルサービスタンク業務：毎月●建築設備定期検査報告11/13●自動扉点検業務：5/11、8/3、11/7、2/2 ②危機管理体制の確立 ●避難訓練●救命救急法講習（AED研修含）●人材育成プログラム●接客研修●コンプライアンス研修	(よかったと評価できる事項) 計画的実施要項および緊急修繕要項に基づき、計画的かつ適正に実施され、衛生面、安全面に細心の注意が払われている。 (改善を要した事項と対応) 施設を取り囲む植栽の手入れを計画的に実施する。 (課題) 除草などさらに施設を快適に利用できる環境整備を充実させたい。なお、施設の経年劣化に伴い修繕が必要なものが多。リスク分担上の修繕等への対応をしなければならない。
	(サー)施設の運営業務(サ)ビス向上策)	【目標】 ○利用者の目線を基本とする施設運営 ○生涯スポーツ推進は市民の集いから 【具体的な取り組み】 ①利用許可 ・特定の利用者に偏らない公平な運営 ②利用料の設定、徴収 ③物品販売の開設	①利用許可 ●毎回受付 ②利用料の設定、徴収 ●R05 36,646千円(R04 30,607 千円) ●市広報や市LINE、地域情報誌、ZTV等で情報発信し、利用者の拡大を図っている。 ●利用者アンケートとして、年1回のモニタリングを行い、要望や改善点を収集している。また、その要望に対し優先度、難易度等を総合的に判断し善処している。 ③物品販売 スイミング関連用品、アパレルウェア、栄養補助食品等	(よかったと評価できる事項) トレーニングルームの備品の更新等、利用者の要望に素早く対応され、利用者の増加に繋がっている。また、施設全体が清潔に保たれており、快適に利用できている。 (改善を要した事項と対応) 特になし。 (課題) 回数券などといった施設ごとの工夫に繋がっていただきたい。
	(提)案内容の(実)施業務(自)主事業	【目標】 ○民間企業の英知と努力を活かした施設運営 【具体的な取り組み】 ①防犯の徹底 ・防犯カメラを複数台設置し、事務所内モニターで監視 ・「警備実施中」の看板を掲示 ・夜間は機械警備システムにより遠隔監視 ②職員研修の開催 ・普通救命講習 ・プールスタッフ研修、トレーニングルーム研修 ・個人情報セミナー ・危機管理研修、法令研修 等 ③自主事業の運営 ・プール定期教室、フィットネスタジオ定期教室、屋根付多目的広場定期教室	①防犯の徹底 ●防犯カメラを複数台設置し、事務所内モニターで監視 ●夜間は機械警備システムにより遠隔監視 ②職員研修の開催 ③自主事業の運営 プール定期教室、フィットネスタジオ定期教室、屋根付き多目的広場定期教室、健康増進プログラム	(よかったと評価できる事項) 自主事業の中でも、プールの定期教室については好調で、フィットネスの定期教室は徐々に利用者数が回復している。屋根付き多目的広場においても、企業の特性を生かした教室を運営するなど創意工夫が伺える。 (改善を要した事項と対応) 特になし。 (課題) 自主事業において、ニーズの高い新規教室の開催や利用者拡大に向けた事業の検討・精査に努められたい。

施設設置の目的達成状況	(施設利用促進策)	【目標】 ○利用者の声が反映される施設運営で利用者を増やす 【具体的な取り組み】 ①利用者アンケート等の実施 ②口コミ宣伝での利用促進 ③ホームページでの情報発信 ④市広報の活用 ⑤市LINEの活用 ⑥コミュニティセンター等へのチラシ配布、地域情報誌やZTV等の活用	●施設利用者数 ：R05 147,394 (R04 128,270 名) ①利用者アンケート、利用者ミーティング等の実施 ②口コミ宣伝での利用促進を実践 ③ホームページで利用者の有効利用のため新着情報等を随時掲載 ④広報おうみはちまんへの掲載(ほぼ毎月) ⑤市LINEにてイベント・教室の周知 ⑥各学区コミュニティセンターへのチラシ配布(6月・9月・12月)、地域情報誌「オウティ」への掲載(毎月)、ZTVでの情報発信(6月・9月・12月)、LINE@の運用	(よかったと評価できる事項) 利用者拡大に向け、市広報や市LINE、地域情報誌、ZTV、LINE@、コミュニティセンター等へのチラシ配布など有効活用され、幅広い年齢層での新規利用獲得に向けて努力されている。
				(改善を要した事項と対応) 特になし。
				(課題) 施設の認知度向上に向けた取り組みの充実を行う。

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績		令和5年度実績		
収支状況	●収入	120,835 千円【税込み】	●収入	129,027 千円【税込み】	(よかったと評価できる事項) 利用者数・利用料収入ともに少しずつ増加傾向にあり、事務費・管理費ともに支出の削減の努力をされていることが伺える。また、自主事業の運営を工夫され、収入確保に向け取り組まれている。” (改善を要した事項と対応) 特になし。 (課題) 自主事業の充実(マルシェ・地域への貢献等)、企業の特性を生かした新規自主事業を企画し運営いただきたい。
	指定管理料	47,600 千円	指定管理料	47,438 千円	
	利用料等	30,607 千円	利用料等	36,646 千円	
	自主事業	42,627 千円	自主事業	44,943 千円	
	●支出	140,455 千円【税込み】	●支出	139,414 千円【税込み】	
	人件費	59,398 千円	人件費	63,135 千円	
	事務費	28,248 千円	事務費	23,441 千円	
	管理費	52,808 千円	管理費	52,837 千円	

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	実施期間：令和5年12月～令和6年1月 実施方法：施設利用者へのアンケート調査
評価頂いている内容	・施設や備品が常に清潔に保たれていることへの評価 ・教室の充実
苦情・意見等	・料金設定についての改善要望 ・設備・備品の充実についての意見 ・植栽の管理

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

建築から7年が経過しているため、備品や施設修繕等においては、今後も協議を行っていきたい。
--

6. 指定管理者の自己評価コメント

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことにより、「安全・安心に利用できる施設づくり」を課題として取り組んだ1年となりました。 施設運営については、収入の柱である「利用料金収入」と「自主事業収入」の拡大が必須条件であることから、それぞれの内訳・状況等を分析することから導き出される対応策の実践が課題であり、確実に実行させることの必要性を強く感じております。共同体としても、利用者からの要望に応えられる提案、高いレベルでの接遇と施設設備の維持管理を行うことで利用者数の維持・拡大を目標とし、損益改善に取り組めます。
--

7. 所属の総括コメント

企業の英知とこれまでの事業実績により、効率よく運営し利用者が快適に安全で安心して利用できる施設環境づくりのため、創意工夫を凝らした管理運営に努められていることを評価します。施設利用者数、施設使用料と増加傾向にあることなど、スタッフの対応が利用者の満足度に繋がっていると考えます。 自主事業運営においては、利用者ニーズを素早くキャッチし、過去の収支状況を鑑みた工夫やさらなる取組に努めていただきたい。 なお、施設の植栽に関しては、今後も適切に管理いただくようお願いしたい。
